



本州最南端の灯台の上から
太平洋を見下ろそう！



潮岬の最も南の部分
クレ崎が見えます

灯台へのアクセス

☆鉄道・バス等

- ・JR 紀勢本線串本駅下車
串本駅～（串本町コミュニティバス潮岬線）～
潮岬灯台前下車（約15分）、徒歩約3分

☆自動車

- ・紀勢自動車道すさみ南IC～国道42号、県道41号
經由 約40分
- ・紀勢自動車道尾鷲北IC～国道42号、県道41号
經由 約2時間10分



〈参観寄付金〉300円（中学生以上）
小学生以下、障がい者（介助の方1人まで）
の方はいただきません。

〈参観時間〉

3月～9月 土日等 8:30～17:00
平日 9:00～16:30
10月～2月 9:00～16:30
（土日等：土、日、祝日、休日、GW、8/10～19日）

参観状況は下記のHPにてご確認ください。
悪天候時はのぼれない場合がございます
のでご了承ください。

〈公益社団法人燈光会 潮岬支所〉

〒649-3502

和歌山県東牟婁郡串本町潮岬2877

TEL 0735-62-0141（FAX 兼用）

<https://www.tokokai.org/tourlight/tourlight10/>



しおのみさきとうだい

潮岬灯台

～海と緑に囲まれた本州最南端の灯台～



のぼれる灯台16のひとつ

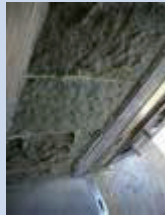
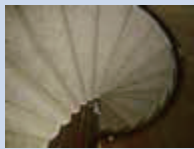


shionomisaki lighthouse

資料展示室

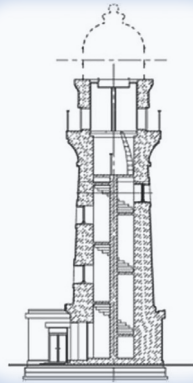


資料展示室には歴史的に貴重な第2等フレネルレンズや初代潮岬灯台の模型などが展示されています。



明治初期に建設された石造りの重厚な灯台入口や壁面なども注目してみてください。

灯台の姿図



断面図

〔この灯台の概要〕

位 置	北緯 33度26分15秒 東経 135度45分16秒
塗色・構造	白色・塔形(石造) (灯台の色と造りのことです)
灯 質	単せん白光 15秒に1回発光 (沖合の船舶から灯台を見た場合、回転するレンズから放たれる光を15秒ごとに見ることができます)
光 度	970,000カンデラ (「カンデラ」とは、光源の強さを表す単位です)
光 達 距 離	19.0海里(約35キロメートルです。1海里は1,852メートルです)
明 弧	278度から130度まで (明弧とは光が見える範囲のことです)
高 さ	灯台の基礎部から灯台の頂部まで23メートル 平均水面上から灯火まで49メートル 地上から灯火まで20メートル
初 点 灯	明治6年9月15日



現在の光源
(LB-H120型灯器
で国内最大級、
1500Wの電球で
97万カンデラ)

灯台の歴史

潮岬灯台は、慶応2(1866)年5月江戸幕府がアメリカ、イギリス、フランス、オランダの4か国と取り交わした条約で建設が決められた8灯台のひとつです。



初代潮岬灯台

串本町にはこの8灯台のうち2つの灯台があります。
(もうひとつは檜野埼灯台)
それだけ航海の難所だったでしょう

初代の灯塔は8角形の木造で我が国最初の洋式木造灯台とされています。

現在の石造りの灯台は明治10年5月から翌年4月までの約1年で改築された2代目です。

初点灯は明治6年ですが、実は明治3年6月10日に仮点灯しています。それは英国から搬送中の灯器が東シナ海で沈没し急遽米国機関車のヘッドライト5個を使用して点灯したからです。



2代目灯台の銘板には初点と改築の期日が記されています。